

# 信頼が強める成長期待

3年間のPBR上昇幅が大きい中堅企業

順位	社名	業容	PBR上昇幅	19年末のPBR
1	弁護士ドットコム	法律相談サイト	48.0	63.1倍
2	ラクス	クラウドサービス	26.0	37.6
3	北の達人コーポレーション	健康食品販売	24.1	28.1
4	オプティム	システム開発	17.1	33.4
5	アイ・アールジャパンホールディングス	企業の株主対応支援	15.8	19.1
6	レアジョブ	ネット英会話レッスン	15.7	18.8
7	インソース	社会人研修	15.4	24.1
8	カナミックネットワーク	介護情報ソフト	11.6	25.6
9	インフォマート	食材の電子商取引基盤	11.2	20.5
10	鎌倉新書	葬儀関連サイト	11.1	20.6
11	手間いらず	宿泊予約管理システム	9.3	12.5
12	ペプチドリーム	医薬品関連製造	8.7	40.8
13	ダブルスタンダード	ビッグデータ解析	7.6	18.0
14	オリコン	ランキング配信	7.5	9.7
15	ブレインパッド	データ分析に基づく経営改善支援	7.3	13.4
16	ホロン	半導体検査装置	6.7	8.7
17	Lib Work	住宅施工	5.8	6.8
18	メンバーズ	サイト運営代行	5.4	8.4
19	バリューHR	健保向け健康管理サービス	4.7	8.5
20	PR TIMES	ニュースリリース配信	4.6	8.7
20	ミズホメディター	体外診断用医薬品	4.6	8.1
22	フィックスターズ	システムの処理速度向上	4.5	15.7
23	日本テクノ・ラボ	業務用プリンターの制御ソフト	4.1	4.9
23	マークラインズ	自動車産業ポータル	4.1	11.1
25	応用技術	営業支援ソフト	3.6	4.6

日本経済新聞社が売上高100億円以下の中堅上場企業「NEXT1000」を対象に、2019年末まで3年間のPBR（株価純資産倍率）の上昇幅を調べたところ、上位にはクラウドなどを通じて事業者向けのサービスを提供する企業が入った。ブランド力や顧客との関係など、財務諸表に計上されない「見えない資産」が評価された企業が多い。首位は国内弁護士の4割強が登録する法律相談サイトを運営する、弁護士ドットコムだった。

調査の概要 直近決算期の売上高が100億円以下の上場企業993社を対象（TOKYO PRO Market 場企業、決算期変更除く）。2016年末と比べた19年末のPBR（株価純資産倍率）の増加幅が大きい順にランキングした。直近4年間で最終赤字を計上した企業は除いた。データは1月17日時点。

3年間のPBR上昇幅が大きい中堅企業

順位	社名	業容	3年間のPBR上昇幅	19年末の時価総額
1	弁護士ドットコム	法律相談サイト	48.0	1279億円
2	ラクス	クラウドサービス	26.0	1813
3	北の達人コーポレーション	健康食品販売	24.1	1028
4	オプティム	システム開発	17.1	943
5	アイ・アールジャパンホールディングス	企業の株主対応支援	15.8	865
6	レアジョブ	ネット英会話レッスン	15.7	247
7	インソース	社会人研修	15.4	753
8	カナミックネットワーク	介護情報ソフト	11.6	380
9	インフォマート	食材の電子商取引基盤	11.2	2555
10	鎌倉新書	葬儀関連サイト	11.1	658

## 帳簿に表れない価値 評価

中堅52%でPBR上昇

ネットサービス目立つ

上場中堅企業の独自ノウハウや技術などに対する株式市場の評価が高まっている。日本経済新聞社が売上高100億円以下の「NEXT1000」を対象に2019年末までの3年間のPBR（株価純資産倍率）変化幅を調べたところ、52%の企業で上昇した。上場企業全体の45%を上回る。上位には得意分野に絞ったネットサービスを手掛ける企業などが多かった。（関連記事をNEXT1000面に）

PBRは株式時価総額を純資産で割った値。1倍を超えると、時価総額が貸借対照表に計上した純資産額を上回ることを示す。ノウハウや技術、ブランド力や取引先との関係など帳簿に表れない価値が市場で評価されているといえる。

4年間連続で最終赤字を確保しているなどの条件でPBRを調べた。NEXT1000のうち、19年末のPBRが1倍を超えた企業の比率は64%。上場企業全体の53%より高かった。

NEXT1000でPBRを高めた企業の上位には大型設備を持たず独自のノウハウを生かして事業を拡大するネット関連企業が目立つ。